



◆◆ファイルデータベースD・Coreで膨大なファイルを有効活用◆◆

不動産・建設業におけるファイル管理の現状

サーバーの共有フォルダ



●問題点① フォルダをたどるのが面倒だ

物件名や号室等で構成されるフォルダの階層をダブルクリックしてたどっていかなければならない

●問題点② お目当てのファイルがどれかわからない

ファイル名だけではわからないのでいちいちダブルクリックで開いて内容を確認するのが手間

こんなことで貴重な時間を無駄にしていますか？



D・Coreなら膨大な量のファイル情報をデータベース化

「物件ファイルデータベース」のイメージ

物件名	号室	入居者	入居日付	区分	ファイル説明
物件 A	101	田中 A 多	2015/10/1	間取図	1DK
物件 A	101	田中 A 多	2015/10/1	内観写真	玄関
物件 A	101	田中 A 多	2015/10/1	内観写真	DK
物件 A	101	田中 A 多	2015/10/1	契約書	
物件 A	101	田中 A 多	2015/10/1	重要事項説明書	



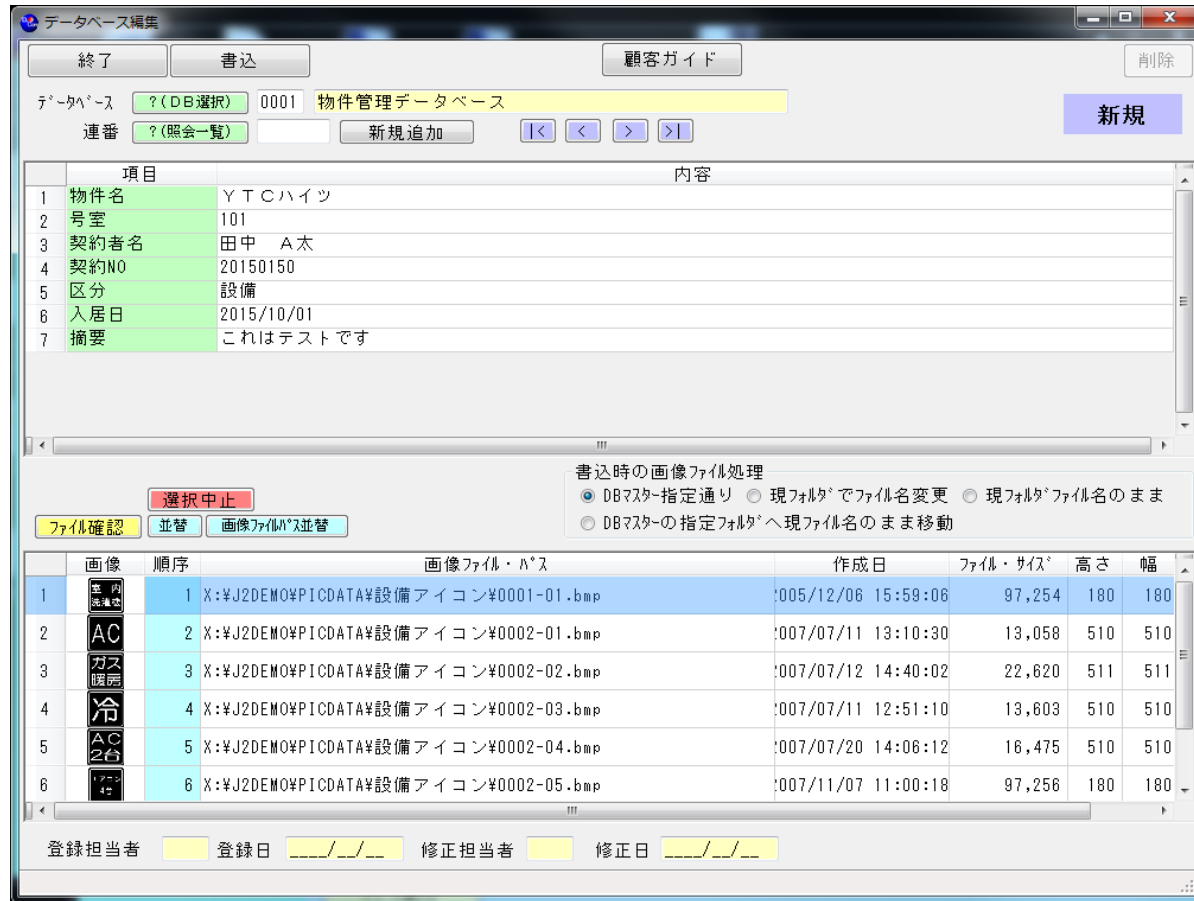
- 物件名や号室等の項目は1つのデータベース当り50項目まで自由に設定可能
- 全項目を複合検索可能
- さらにフィルター・ピンアウト等の機能を駆使して絞り込みOK
- 一覧から即座に内容確認

ファイルという知的情報資産を最大限に活かしたいなら……D・Core



共有フォルダにある既存のファイルも一括取り込み可

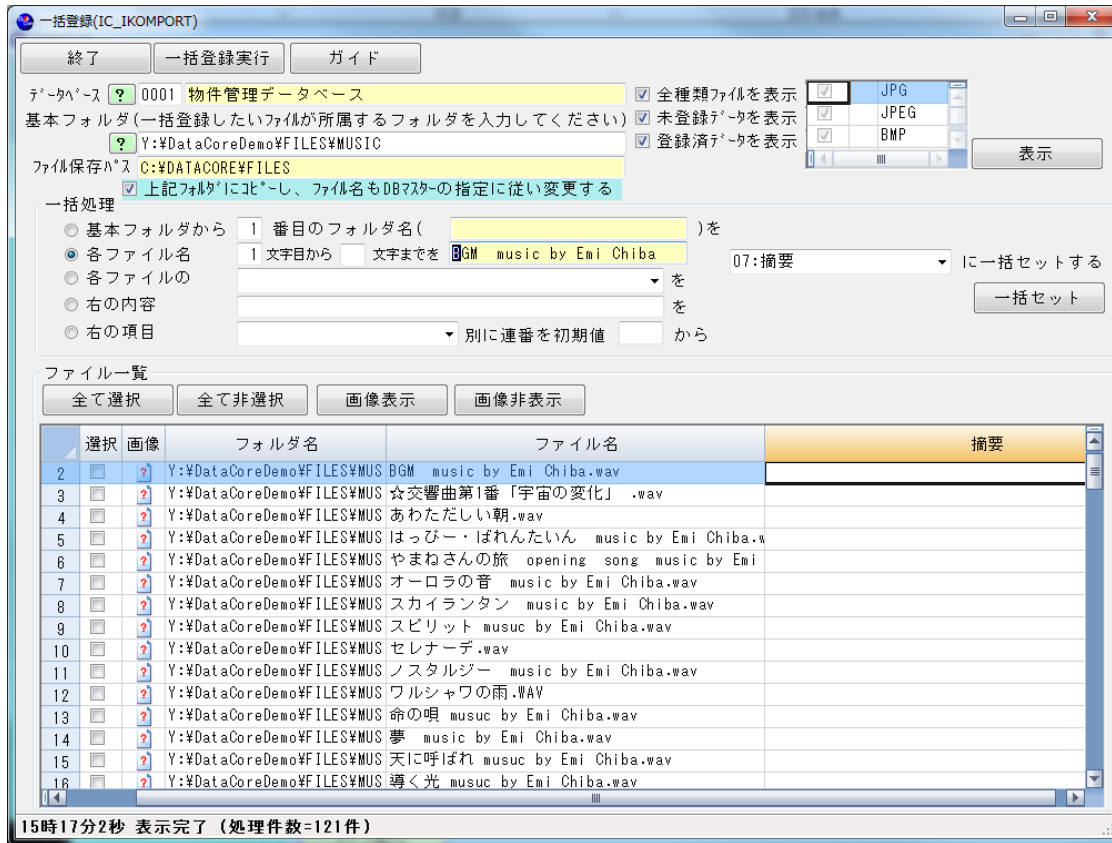
すでに共有フォルダには何千というファイルがあり、今更データベース化など難しいとお考えかもしれませんが、D・Coreには**複数のファイルを一度にデータベース登録できる機能**があります。



指定フォルダ内のファイルを一括で取り込み、登録できます

さらに強力な一括登録

共有フォルダ以下のサブフォルダにあるファイルを一括登録する機能があります



各フォルダ名やファイル名から項目内容を一括セットして登録できます。
フォルダ名やファイル名が一貫したルールでできている場合、簡単に数千個の
ファイルを一括登録できた実績があります。